

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

～わかやまろうさい病院からのおてがみ～

謹賀新年

和歌山ろうさい病院

病院長 南條 輝志男



— 「乙巳(きのとみ)」年頭のご挨拶 —

令和7年・「乙巳(きのとみ)」の年頭に当たり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては佳き新春をお迎えのことと存じます。

昨年は1月1日(元旦)の能登半島大震災に始まり、全国各地で自然災害に見舞われ、また世界各地で勃発した武力衝突が長引き、危機的な様相を呈したまま新年を迎えました。

そんな中、パリ五輪での日本人選手の活躍やMLBでの大谷翔平選手の50-50達成とMVP獲得等の活躍に元気をいただきました。特に大谷選手がホームランを打った日は日本中笑顔で元気に過ごすことができたと思います。不安定な国際状況の中で、唯一の被爆国の被爆者として長年に亘る地道な活動をされた日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞されたことは、誠に有意義で誇らしく思いました。

昨年もご報告申し上げましたが、昨年3月に「地下水汲み上げ浄化センター」が完成し、5月7日に竣工式が行われました。大規模災害などで断水が発生した場合に自給できる飲用にも可能な水量が飛躍的に増え、災害時の医療の継続に加え、近隣の皆様にも飲用水を少しは提供できる機能を備えることができました。これによって、構想して参りました災害医療の3本柱が完成したことになります。因みに1本目の柱はヘリポートや災害医療スキルスラボなどを併設した災害医療研修棟で、2本目の柱は自家発電量を倍増すべく大容量の自家発電機を設置し、コロナのような感染症パンデミックにも対応できるスペースと機能を確保した災害医療対応棟であります。

災害対策以外では新しい画像診断機器として64列 CT装置、人工知能を搭載したMRI(3.0T)も導入し、これによりDWIBS(ドゥイブス)検査を行っています。この検査は、従来のPET-CT検査と比べて検査時間が短く、検査前の絶食が不要で、放射線被ばくを回避できることや、これまで難しかった脳や肝臓などの血流の多い臓器でも詳細に検査できるようになるなど多くのメリットがあります。また1.5T MRI装置も最新のものに更新しました。加えて放射線治療機器として、がんに対してよりピンポイントな照射が可能な最新型リニアックを導入するなど、画像診断センターと放射線治療部門の拡充を計り、より高度な医療の提供が可能となりました。

今年は巳(へび)の年ですが、元来成長や変革の年であると考えられております。また医療関係ではギリシャ神話の治療の神・アスクレピオスの持っている杖に蛇が巻きつかれていることから、WHOや救急車などのロゴマークにも蛇が描かれています。古来より蛇から得られるものは命を救う薬にも死に至らしめる毒にもなることが知られていたからだそうです。私たちが蛇にあやかって理想的な医療を提供できるよう精進致しますので、ご支援宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、ご多幸の年になりますよう祈念申し上げます。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181(代) FAX.073-452-7171(代)・073-451-3788(地域連携室専用FAX)

E-mail:soumu@wakayamah.johas.go.jp URL:https://www.wakayamah.johas.go.jp/

和歌山ろうさい病院の理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

外科の紹介

当院は日本外科学会、日本消化器外科学会、日本胃癌学会等の認定施設であり、それぞれの学会より認定された指導医、専門医により消化器外科、内視鏡外科、一般外科、救急外科を担当しています。具体的には食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵がん、胆道がんなどの消化器がんの手術や食道裂孔ヘルニア、食道アカラシア、胆石症、虫垂炎、直腸脱などの様々な消化器良性疾患や鼠径ヘルニアなどの一般外科疾患、さらに消化管穿孔や腸閉塞などの腹部救急疾患など幅広い領域での手術を担当しています。

手術のアプローチにおいては腹腔鏡や胸腔鏡を用いた内視鏡外科手術に力を入れており、食道がんに対する胸腔鏡下手術（食道外科専門医が常勤）や胃がん、胃GIST、大腸がん、胆石症、虫垂炎、鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術を積極的に行い、患者さんに優しい低侵襲な外科治療を心がけています。さらに最近では膵臓がんや転移性肝がんにも適応を広げています。これらの内視鏡下手術の際には、必要に応じて高精細な4K映像や3D映像の内視鏡システムを用いることにより詳細な内視鏡観察が可能となっています。さらにIR内視鏡システムを用いることにより対象となる臓器のリンパの流れや温存する臓器の血流をリアルタイムで観察することも可能となっています。これらの最新の手術機器を駆使することでより精緻で安全な内視鏡外科手術を行っております。

また当科では外科治療のみならず、抗がん剤治療、分子標的治療や免疫療法などの薬物療法に加え、放射線科と協力して放射線と抗がん剤を同時の行う治療（化学放射線療法）も積極的に行っております。特に“進んだがん”では手術のみでは対処できない場合があります。私たちは手術前に薬物療法や化学放射線療法を行い“がんを小さくして”から手術を行うことで治療効果を高めることや、診断時には手術では取り切れないと判断した高度に進行したがんに対しては、まず薬物療法や化学放射線療法を行い、大きな効果がみられた場合に手術を行い（コンバージョン手術）根治切除を目指すことにも積極的に取り組んでいます。

昨今、全国的に外科医不足が深刻化しておりますが、地域外科診療における当院の重要性を理解して頂き、昨年4月より和医大より1名派遣増となり現在6名体制で診療を行っております。それにより従来以上に消化器がん外科治療ならびに腹部緊急手術に対応できるようになりました。今後も地域の皆様方に安心して治療を受けていただけるよう連携医療機関の先生方とともになお一層努力していく所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



中央リハビリテーション部の紹介

中央リハビリテーション部 部長 辻中 清晃

リハビリテーション科及び中央リハビリテーション部は、リハ医師2名、理学療法士15名、作業療法士5名、言語聴覚士3名、受付1名、助手1名の27名体制で日々の診療を行っています。

施設基準としては、心大血管疾患リハビリテーション料(I)をはじめ脳血管疾患等リハビリテーション料、運動器リハビリテーション料、呼吸器リハビリテーション料について(I)を取得しており、また、がん患者リハビリテーション料を算定するために必要な資格を取得したセラピストも21名在籍し、各診療科からの依頼に対して幅広くリハビリテーションを行っています。

【早期離床への取り組み】

ICU入室患者に対して、医師・看護師・理学療法士などの多職種でカンファレンスを開催しており、患者さんの状態に合わせた離床プログラムを立案・実施し、早期の呼吸器離脱や合併症、廃用症候群、せん妄などの予防を目的として、早期離床に多職種で取り組んでいます。

【手の外科への取り組み】

当院には手外科専門医が2名在籍しており、切断後の再接着術や腱損傷修復術後といった高度な治療技術が求められる患者さんに対するリハビリテーションの依頼があります。そのため、院内外の勉強会への参加はもちろん、毎朝開催される整形外科術後カンファレンスにもリハビリスタッフが出席し、手術内容の確認をはじめリハビリの進捗状況や今後の治療方針について主治医と情報を共有し、治療効果が最大限に引き出されるよう取り組んでいます。

【摂食嚥下サポートチーム活動】

当院では令和元年4月より摂食嚥下サポートチームが活動しています。チーム構成は耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、リハビリテーション科医師、呼吸器内科医師、脳神経外科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、放射線技師、言語聴覚士、事務員となっており、多職種が連携して摂食嚥下障害患者の機能改善、誤嚥性肺炎の予防、QOLの向上を目的としています。年間約200名弱の介入実績があり、嚥下機能評価や画像診断結果に基づき、患者さんひとりひとりに適した嚥下調整食の選択など、経口摂取できる可能性が高くなるよう積極的に取り組んでいます。

中央リハビリテーション部では、患者さんの可能な限りの機能向上を目指し、日常生活や社会での活動性を上げることを目標として取り組んでいきますので、ご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



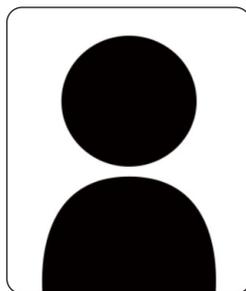
令和6年10月・12月採用医師紹介



やまざき ひろふみ
山崎 博史 先生

消化器内科

和歌山県立医科大学第二内科に所属しています山崎博史と申します。患者さんとお話ししながら、診療を行っていきます。宜しくお願い致します。



いなぎ りき
稲垣 利紀 先生

放射線科

このたび新たに赴任しました。地域医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い申し上げます。



救急医療功労者授与

この度、脳神経外科部長の岡田秀雄氏が救急医療への貢献、普及啓発等が認められ表彰されました。

長年にわたる岡田氏の救急医療への姿勢に敬意を表するとともに、この度の表彰を心よりお祝い申し上げます。



和歌山県病院大会表彰受賞

令和6年11月17日に病理診断科部長の坪田ゆかり氏が多年にわたり病院に勤務し、病院業務の推進に寄与し、その業績が他の模範と認められるとし、優秀職員会長表彰を受けました。同日南5病棟師長の橋本眞由美氏及び外来師長補佐の柳原邦子氏が長年職務に精励したことが認められ、永年勤続者会長表彰を受けました。



「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

耳鼻咽喉科 ゆうクリニック

診療科目 耳鼻咽喉科

住 所 〒649-6425 和歌山県紀の川市中井阪205-3

電 話 0736-77-1511



耳鼻咽喉科ゆうクリニックは院長である安井先生の「これまで学んできた医療を地域に還元したい」という思いから、大学の同級生である上野先生とともに平成28年8月1日に開設されたクリニックです。

先生は、患者様もスタッフも心地良く過ごせるクリニックであることを大切にされています。院内は白と緑を基調としており、日光が入って明るい雰囲気です。

2名体制の外来で、土日も診療を行っています。風邪の症状を訴える小さなお子様から、難聴で補聴器を作成してほしいというご高齢の方まで、幅広い年齢層の患者様が来院されています。また、クリニックの特徴としてはダイビング外来も挙げられます。安井先生のご趣味をきっかけとして開設された外来ですが、県外から受診に来る患者様もいらっしゃいます。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

		月	火	水	木	金	土	日
耳鼻咽喉科 ゆうクリニック 診療時間	9:30～12:00	安井 上野	安井 上野	安井	上野	安井 上野	安井 上野	安井 上野
	15:30～18:30	安井 上野	上野	安井	上野	安井 上野	安井	休

※休診日：日曜午後、祝日、年末年始

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和7年1月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日	
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中尾 隆太郎	若崎 久生	中 啓吾	リウマチ・膠原病内科診 (午後) 第1・3週 西川 太朗	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	味村 彩美	三長 敬昌	丸山 杏奈		
		③番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	北 浩光 (腎臓内科)		
		⑩番	-	-	-	-	-		
		⑪番	-	-	リウマチ・膠原病内科診 第1・3・5週 岩田 慈 第2・4 西川 太朗	-	-		
脳神経内科	A	①番	楢皮谷 泰寛	(午前)高橋 麻衣子	休診	楢皮谷 泰寛	楢皮谷 泰寛	-	
		④番	-	(午後)福本 明由美	-	(午前)小代 麻由	-	-	
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	休診	休診	-	
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	庄野 剛史	庄野 剛史	-	-	休診	
		⑥番	辰田 仁美	-	前部屋 賢	辰田 仁美	-		
消化器内科	B	①番	当番医	江守 智哉	深津 和弘	江守 智哉	内視鏡センター診 深津 和弘	-	
		⑫番	与田 武徳	山崎 博史	大西 紀幸	垣本 哲宏	坪田 悠祐		
肝臓内科	B	⑬番	玉井 秀幸	岡村 順平	玉井 秀幸	玉井 秀幸	玉井 秀幸	-	
循環器内科	A	⑤番	小川 真未	小向 賢一	林 泰	林 泰	山本 康徳	火・木	
		⑥番	西大塚 俊幹	-	山本 康徳	-	小向 賢一		
小児科	C	⑨番	上田 美奈	当番医	田中 侑	小森 有紀	上田 美奈	【第1週目】神経・発達 前田 真範 【第2・3週目】午後 西川 香瑠 【第4週目】神経・発達 篠崎 浩平	-
		⑩番	西川 香瑠	当番医	西川 香瑠	田中 侑	小森 有紀		
		特診⑨	小森 有紀	上田【予防接種】	田中 侑	上田 美奈	-		
		特診⑩	田中 侑	-	西川 香瑠	小森 有紀	心臓外来 土橋 智弥		
外科	B	⑦番	山本 基	岩橋 誠	宮澤 基樹	岩橋 誠	山本 基	月・火・水・木・金	
		⑧番	桐山 茂久	福田 直城	桐山 茂久	福田 直城	宮澤 基樹		
		⑨番	-	石川 順也	-	-	-		
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-		
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金	
		④番	峠 康	岩田 勝栄	瀧口 登	スポーツ整形診 麻殖生 和博	野中 研人		
		⑤番	当番医【紹介新患診】	瀧口 登	平 一裕	大西 麻紀子	平 一裕		
		⑥番	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】		
		⑦番	野中 研人	-	-	-	-		
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 岡田 秀雄	林 宣秀	岡田 秀雄	当番医	林 宣秀	火・木	
		⑬番	鎌尾 佳章	第1・3週 小山 佳輝 第2・4週 川口 匠 第5週 当番医	第1・3週 山口 由佳 第2・4週 鎌尾 佳章 第5週 当番医	-	川口 匠		
		⑭番	山口 由佳	当番医	当番医	当番医	当番医		
		救急待機	当番医	当番医	当番医	当番医			
呼吸器・乳腺外科	A	③番	玉藤 剛司 (乳腺外来) (予約患者のみ)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	月	
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	風呂谷 亜美	下松 達哉	火	
		②番	平田 一希	-	風呂谷 亜美	平田 一希	【第1・3・5週】風呂谷 【第2・4週】平田		
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	出口 龍良	休診	鈴木 淳史	当番医	水・金	
産婦人科	D	②番	出口 龍良	丸山 容平	丸山 容平	丸山 容平	丸山 容平	火・木	
		⑩番	竹中 由夏	助産外来(予約患者のみ)	助産外来(予約患者のみ)	助産外来(予約患者のみ)	竹中 由夏		
		⑫番	当番医(予約患者のみ)	当番医(予約患者のみ)	当番医(予約患者のみ)	当番医	当番医		
		⑬番	谷本 敏	-	竹中 由夏	谷本 敏	佐藤 あゆみ		
眼科	D	⑥番	坂東 肇 (午前)	佐々木 秀一朗 (午前)	佐々木 秀一朗	休診	佐々木 秀一朗	月・木	
		⑦番	安武 正治郎 (午後)	安武 正治郎 (午後)	-	-	-		
		午後予約	-	-	検査(予約制)	-	-		
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C	⑥番	森山 智美	休診	森山 智美	森山 智美	福田 祐也 【第1・3週】 頭頸部外科外来 横山 道明	火・水・金	
		⑦番	福田 祐也	-	-	-	-		
		午後 予約	嚥下外来 福田 祐也	-	-	第2・4週 補聴器外来・当番医	嚥下外来 福田 祐也		
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-		
放射線科	D	IVR	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	-	
		放射線治療 画像診断	千葉 堯弘 当番医	千葉 堯弘 当番医	千葉(午前)予約患者のみ 当番医	千葉 堯弘 当番医	千葉 堯弘 当番医		
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 (予約制) A⑦番 D⑫番	-	-	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	-	-	
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(14:00~14:30)	庄野 剛史	-	-	禁煙外来(14:00~14:30) 庄野 剛史	-	-	
		肥満外来(15:00~16:00)	-	-	-	中 啓吾			

(注1)

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 皮膚科の火曜日、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 膠原病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(073-451-3303)までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(073-451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 10.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室(073-451-3186)までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応できない場合があり、また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いします》

【予約専用電話】 073-451-3186